

**製品名:  $\beta$ -1,3-Gal-TL ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab20341**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、 $-20^{\circ}\text{C}$ で保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:20000-1:40000
分子量	57kDa

**抗原情報**

遺伝子名	B3GALTL
別名	B3GALTL; B3GTL; Beta-1; 3-glycosyltransferase; Beta3Glc-T; Beta-3-glycosyltransferase-like
遺伝子 ID	145173.0
SwissProt ID	Q6Y288
免疫原	抗血清はヒト B3GALTL 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 449-498

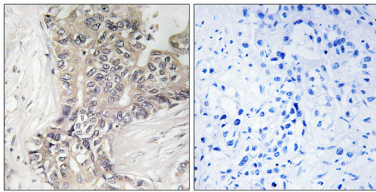
**背景**

この遺伝子によってコードされるタンパク質は、 $\beta$ -1,3-グルコシルトランスフェラーゼであり、いくつかのタンパク質のトロンボスポンジン 1 型リピート (TSR) 上の O-結合型フコシルグリカンにグルコースを転移する。コードされるタンパク質は II 型膜タンパク質

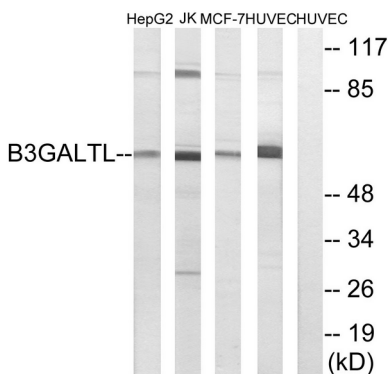
である。この遺伝子の欠陥は、ピーターズプラス症候群（PPS）の原因の一つである。[RefSeq 提供、2009年3月]、疾患: B3GALTL の欠陥は、ピーターズプラス症候群（PPS）の原因である[MIM:261540]。PPSは、前眼房異常、不均衡な低身長、発達遅延、特徴的な頭蓋顔面特徴、口唇裂および/または口蓋裂を特徴とする常染色体劣性疾患である。機能:  $\beta$ -1,3 結合を有するフコースヘグルコースを転移する O-フコシルトランスフェラーゼ。タンパク質の TSP タイプ 1 ドメイン上の O-結合型フコシルグリカンの特異的にグルコシル化し、それによって O-フコシルグリカンの伸長に寄与します。オンライン情報: GlycoGene データベース、経路: タンパク質修飾; タンパク質グリコシル化、類似性: グリコシルトランスフェラーゼ 31 ファミリーに属します。組織特異性: 広く発現しており、精巣と子宮で最も高く発現します。

## 研究分野

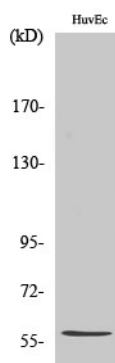
## 画像データ



B3GALTL 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト肝癌組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした画像です。



B3GALTL 抗体を用いた HUVEC、MCF-7、Jurkat、HepG2 細胞のライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



$\beta$ -1,3-Gal-TL ポリクローナル抗体（1: 500 希釈）を用いた各種細胞のウェスタンブロット解析。二次抗体は 1: 20000 に希釈した。